

【質疑要旨】		報告者	まちづくり推進課	
名称	富士見市地域説明会(8日目)			
日時	令和2年10月7日(水) 19時00分～21時00分			
場所	つるせ台小学校体育館			
出席者	説明担当員・ 質疑対応員	市長、副市長、教育長、各部長		
	事務局職員	政策企画課及びまちづくり推進課		

【意見・質疑応答】

■質問者

空き家や高齢の方の住宅等の木が道路に飛び出して交通安全上良くない。市から連絡、指導してもらえないか。

◆市長

民地なので、まずは所有者の方に善処して頂くことが必要と考えております。改善されない場合は、市で指導させていただくこととなります。

■質問者

西出張所が3月をもって閉鎖との噂を聞いた。近くに移転するのか。鶴瀬西地域は高齢化しているのでぜひ作ってもらいたい。

◆市長

西出張所は、来年の3月31日をもって一時閉鎖させていただきます。ハローワークを目的に来られる方もいらっしゃることから、代替は現在調査研究、検討しています。決定次第ご案内させていただきますので、是非御理解をいただきたいと思っております。

■質問者

循環バスを是非東上線西側の方に走らせて欲しい。
東上線東側に2台循環バスがあると思うが、その経費はどのくらいか。1台増やすのに予算はどのくらい増やせばいいのか。

◆市長

公共交通の充実については、多くの皆様方から鶴瀬西だけではなく、南畑地域の皆さんをはじめ、ご要望をいただいております。

一昨年、社会実験ということでデマンドタクシーの導入を半年間やらせていただいて様々なデータを取り試験運行から本格運行に移行いたしました。

デマンドタクシーは循環バスを補完する手段として私どもは現在位置づけています。現時点では、循環バス、デマンドタクシー、鶴瀬駅から市役所とららぼーと間の東武バスの体制ということで御理解をいただきたいと考えております。

今日、ご説明致しましたが、今後、拠点づくりや人口増加政策に打ち込んでまいります。賑わいを作ることで新たな民間のバス事業者の運行などを求めていきたいと考えています。そうすれば、循環バスの路線を再編できるのではないかと考えております。公共交通会議を設けており、循環バス、デマンドタクシー、民間バスなどのデータを取り、3年に1度、次の対策を議論しています。そのようなものを活用しながら、試行錯誤して行きたいと思っております。

◆建設部長

循環バスの運行経費について、詳細なデータは持ち合わせていないが、2台で約2500万円程度だったかと思われます。次の公共交通の検討は令和4年度を予定しております。その際は、市の地域全体的にそのあり方について検討していきたいと考えております。

◆市長

運行経費の他に、先日交換したバスはラッピング等綺麗にして別途1台2000万円程度かかっています。

■質問者

我が家の近くに5軒の空家が出ているが、空家対策を市ではどのように考えているのか。

◆市長

空家対策の審議会が私が会長で、有識者、関係者（警察、消防などの代表者）で組織しています。

空家はこれからも増えるでしょう。先程の木についての質問もそうなのですがぜひご連絡いただきたいと思えます。私どもはこれをパトロール、調査して空家の判定をし、A、B、C、Dのランク付けをします。そのランクに合わせたご指導をさせて頂いております。特にDランクになりますと近所にご迷惑がかかる又は地震のときに崩れてしまうので可能性が高いので、最終的には特定空家として認定し、これを強制的に解体するという対応が可能となります。

利活用については、埼玉県の不働産業協会との連携や空き家バンク、隣接する方が購入する場合の補助制度を設けているところです。

■質問者

学校や公共建築物などの維持管理に多くの費用がかかると思う。今後の考えを聞きたい。

◆市長

まさにこの20年はその課題を公共施設マネジメントとして取り組む時になったと考えております。

◆総合政策部長

公共施設マネジメントの観点からすると、学校の老朽化したところについては、大規模改修など長寿命化を図ってまいります。

今後児童生徒の数が減少していく事が考えられます。教育委員会において学区や児童数などを見定め、今後の方向性を検討してまいります。

■質問者

西口の区画整理が終わって、交番の脇に道路が出来たが、現状通行止めになっている。その後の進捗などを教えて欲しい。

◆市長

土地区画整理事業はまだ施行中でございます。ご指摘の道路については、関係地権者のご理解を頂く努力をしておりますので、もう少しお時間をいただきたいと思いますと考えております。交渉事なので、残念ながらいつという数字を申し上げられないのは事実でございます。

■質問者

これから選ばれる街ということだが、どんな人に選ばれたいのか。

また、コミュニティづくりで具体的な策があったら教えて欲しい。

◆市長

20代後半から30代40代位までの皆様が住宅を買い求めて、またはマンションを賃貸

して、富士見市をお選び頂くというケースが今増えているので、今後もこの世代をターゲットにしていきたいと考えております。従いまして、今後も子育て、学校教育などに力を入れてまいりたいと考えております。

シティプロモーションについて、民間の皆さんのお力を借りてパンフレットを作りました。これを池袋駅などに置かせていただいて富士見市を知って頂こうと考えています。また、現在検討中ですが、シティプロモーション課というのを設けたいと考えており、さらにPRに力を入れていく予定となっております。

コミュニティづくりについては、現在、富士見市も大学やコカコーラなどの様々な企業、銀行関係のみなさんと様々な知恵を交換し、持っている力を借りてまちづくりに取り組もうということで連携協定を結んでおります。

■ 質問者

今後も、富士見市を選んでくれるという方を増やしていくという方向性でやっていくという認識で良いか。

◆ 市長

そのとおりですが、実は富士見市から出て行く方の行き先で1番多いのは三芳町、ふじみ野、川越市です。富士見市に入ってくるのは志木市、朝霞、和光、練馬区、板橋区が多い。

富士見市から出て行く方は入ってくる方より上の年代です。富士見市の地価は今高くなっています。30代半ばから40代半ばぐらいの方が住宅を求めて出て行く。我々は魅力を作り、またそれを高めていく磨きをかけていくことが必要だということを肝に銘じているところです。

■ 質問者

基本構想が充実した日々を送れるような富士見市にするということだが、線路の東側はスポーツ施設や自然公園、商業施設などあるが、西側あまりない。商店街も減ってきている。高齢者は遠い施設は利用しにくい。西地区では高齢者が充実した日々を過ごしにくい状況があるかと思う。

高齢者が文化活動、スポーツ活動などできる施設が西地区は非常に少ないと思うのだが、充実した日々を目標にするならば西地区にもそのような施設を考えてもらいたい。

◆ 市長

おっしゃるとおりですが、西地域に東側と同じものを持つてくるということは難しいと考えております。また、皆さんが自由に移動できる、買い物ができるための移動手段の問題は、これから高齢化が進むということは間違いない事実ですので、重要になってくるものと考えます。拠点作りや賑わいづくりを進めることにより、民間のバス事業者の参入や循環バスを充実させることなど今後、解決策を見出していきたいと考えております。

私見ですが、学校の敷地や建物は宝です。ただ学校としての役割は終わるかもしれません。そうなった場合、例えば、交流センターなどは学校の敷地に整備するという考え方もあるかもしれません。また教室を改良して地域のみなさんに使っていただくなども考えられます。

以上